

# 令和2年度事業報告書

## I 設立目的

本公社は、環境と共生する快適なまちの形成に資するため、環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、もって練馬区の健全な発展と、住民の福祉の向上に寄与することを目的とする。

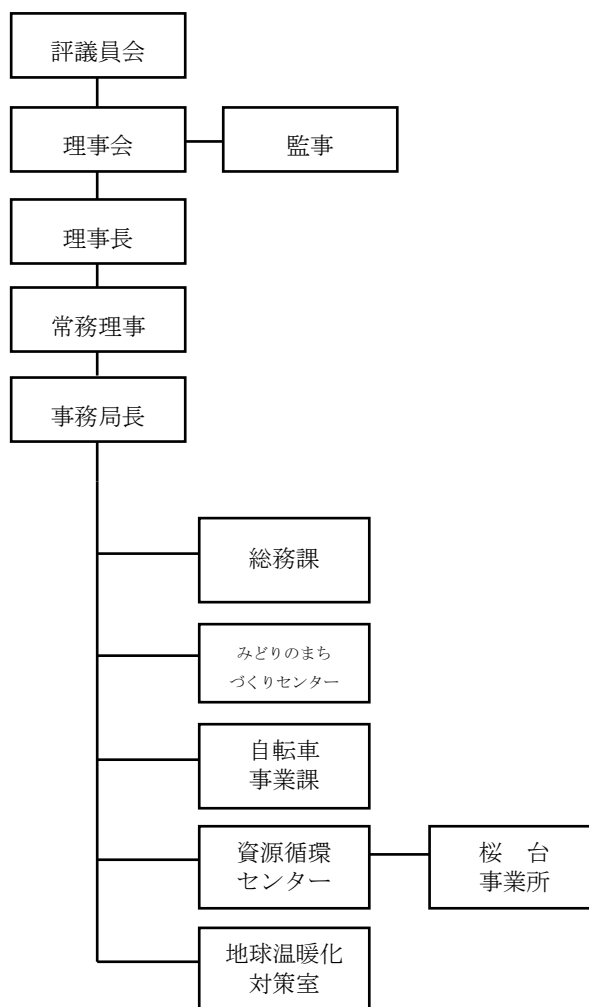
## II 沿革

昭和 62 年 (1987)	11 月 10 日	財団法人練馬区都市整備公社発足
平成 元年 (1989)	9 月	ねりまタウンサイクル管理運営業務受託
平成 4 年 (1992)	5 月	三原台三丁目土地区画整理共同施行事務局業務受託
	7 月	区立有料自転車駐車場管理運営業務受託
平成 5 年 (1993)	1 月	練馬春日町駅西地区市街地再開発組合事務局業務受託
	12 月	中里土地区画整理組合事務局業務受託
平成 8 年 (1996)	8 月	石神井公園駅北口地区市街地再開発組合事務局業務受託
平成 10 年 (1998)	2 月	三原台二丁目土地区画整理組合事務局業務受託
平成 17 年 (2005)	4 月	自転車集積所管理運営業務受託
平成 18 年 (2006)	4 月	区立自転車駐車場等の指定管理者受託
	4 月	放置自転車対策事業受託
	4 月	練馬まちづくりセンター開設
平成 22 年 (2010)	4 月	容器包装プラスチック回収業務・粗大ごみ収集業務受託
	4 月	練馬区福祉のまちづくり協働推進拠点事業受託
	4 月	練馬区地球温暖化対策地域協議会事務局業務受託
	11 月	練馬区資源循環センター管理運営業務受託
平成 23 年 (2011)	5 月	練馬区より景観整備機構指定
	7 月	練馬区景観形成支援事業業務受託
	11 月	公社立豊島園駅前自転車駐車場開設
平成 24 年 (2012)	4 月 1 日	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社に移行
平成 26 年 (2014)	3 月	公社立石神井公園駅東・西自転車駐車場開設
平成 27 年 (2015)	4 月	可燃ごみ・不燃ごみ収集業務受託
平成 28 年 (2016)	4 月	みどり事業受託
	10 月	公社立平和台駅みどり自転車駐車場開設
平成 30 年 (2018)	5 月	公社立氷川台駅さくら自転車駐車場開設
令和 元年 (2019)	11 月	公社立練馬駅つつじ自転車駐車場開設

### Ⅲ 基本財産

2億円（全額練馬区からの出資金）

### Ⅳ 組織・社員数（令和3年3月31日現在）



評議員 7名

役員 17名（理事長1名、常務理事2名、常勤理事1名、非常勤理事11名、監事2名）

社員数 315名（本部運営7名、まちづくり事業14名、自転車適正利用事業89名、資源循環推進・資源回収事業201名、地球温暖化対策事業4名）

## V 事業目的

本社は、平成24年4月1日の公益財団法人練馬区環境まちづくり公社への移行後も練馬区の行政を補完して、環境と共生する快適なまちを実現するため、様々な事業に取り組んできた。

今後も環境とまちづくりに関する事業を推進し、都市機能の維持・増進、環境への負荷の低減、公衆衛生の向上および環境の保全に努め、住民福祉の向上に貢献していく。

これらの目的を達成するために、

- (1) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための調査、研究およびその成果の普及
- (2) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための普及啓発
- (3) 都市機能の維持・増進および環境への負荷低減のための相談、助言および援助
- (4) 練馬区まちづくり条例に基づくまちづくりに必要な支援
- (5) 区と協働して取り組む、まちづくりの企画、立案および推進に関する事業
- (6) 自転車等の適正利用に関する事業
- (7) 資源循環の推進に関する事業
- (8) 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業
- (9) 地球温暖化の防止対策に関する事業

を実施している。

令和2年度における各事業の実施状況について、以下にその概要を報告する。

## VI 事業報告

### 1 みどりのまちづくりセンター事業〔定款第4条第1項第1～3号〕

#### (1) みどり・景観事業の推進

##### ① 憩いの森等を保全する活動団体の育成事業

憩いの森等を保全・活用する自立した区民団体の育成および自立後の側面支援を行った。

##### 1) 西本村憩いの森

森の管理活動、生態調査や地域との連携イベントなどの活動を支援した。当該団体は、令和3年度から区と保全育成に関する協定および管理運営委託契約を締結して自立活動を始めることとなった。

項目	内容	参加者数
保全・育成活動	森もりファンクラブ in 西本村活動：10回 (草刈り・剪定などの管理作業、調査結果による勉強会、管理協定締結に向けた準備) ※4,5月の定例活動は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため郵送による意見収集、報告	158名
森の調査	専門家による植物・生きもの調査実施：3回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため専門家のみで実施	—
地域連携イベント	2/23～3/21 大泉図書館にて西本村憩いの森の活動についてのパネル展示	—

##### 2) 大関山の森緑地

「大関山の森づくり塾」を開催し、森の保全・育成方針を検討し策定する学習会や緑地管理の作業体験を行った。当該団体は、令和3年度から区と保全育成に関する協定および管理運営委託契約を締結して自立活動を始めることとなった。

項目	内容	参加者数
定例活動	大関山の森づくり塾：5回 (植生・成立ち、植生を活かした管理勉強会、草刈り・剪定作業体験等) ※5月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため通信による報告	87名
保全育成方針策定支援	会議2回(11/7、2/10)	27名
森の調査	専門家による植物・生きもの調査実施：3回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため専門家のみで実施	—

##### 3) 南高松憩いの森

「南高松森もりファンクラブ」による管理運営活動の側面支援を行った。

項目	内容
専門家派遣	専門家講師派遣による勉強会：2回 (9/19 ウメの剪定、11/24 タケの手入れと活用)

啓発支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・セミの羽化観察会の広報支援</li> <li>・活動通信「森もりファンクラブ通信」の広報支援</li> </ul>
------	---

#### 4) うめのき憩いの森

「北西うめのき会」による管理運営活動の側面支援を行った。

項目	内容
専門家派遣	専門家講師派遣による勉強会：1回 (11/8 ウメの剪定)

#### 5) 安全管理講習会

憩いの森で活動する団体メンバーが安全への意識を共有し、安全確保の注意点を学ぶために、安全管理講習会を開催した。

項目	内容	参加者数
講習会	3/27 安全管理講習会	13名

#### ② 地域のみどりを地域で守り育てる仕組み構築支援事業

地域ぐるみでの緑化や個人のみどりを地域で守る取組を拡充するため、既存制度の検証や落ち葉清掃に関する区民協働の仕組みづくりに努めた。

項目	内容
モデル事業実施地区の調査検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光が丘パークタウン公園南住宅団地（みどりの協定地区）</li> <li>・春日町町会（みどりの協定地区）</li> </ul>
落ち葉清掃に関する区民協働の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち葉清掃活動に関するヒアリング、アンケート調査</li> <li>・事例調査</li> <li>・区民協働で行う落ち葉清掃に関する課題の整理</li> <li>・次年度に向けた試行案の作成</li> </ul>

#### ③ つながるカレッジねりま「みどり分野」の運営とカリキュラムの構築

「コミュニティ・ガーデナーコース」1期1年目の講座を10月から運営した。「ねりまの森サポーターコース」は、カリキュラム、募集要項等の検討およびテキスト(案)を作成した。

カレッジ卒業生と既存団体とのマッチングに向け、受講生に活動中の花壇の情報を提供し、現場の見学を促した。

項目	内容
コミュニティ・ガーデナーコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム、シラバス等の変更</li> <li>・講座運営</li> </ul>
ねりまの森サポーターコース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営方針とカリキュラム等の検討</li> <li>・募集要項等の検討</li> <li>・テキスト(案)作成</li> </ul>

④ 公共施設等緑化協働支援事業

ボランティアと施設関係者や施設利用者等が協働して行う緑化活動の支援と自主管理活動への移行に向けた調整を行った。また、ボランティア交流会を開催した。

項目	内容	参加者数
定例活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貫井福祉園等 19 か所</li> <li>花苗の植え替え、花壇管理等</li> <li>※4.5月の定例活動は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止、6月以降はボランティアの受け入れ人数を最大5名までとし開催</li> </ul>	808名

開催日・場所	内容	参加者数
1月29日 区民・産業プラザ研修室1（東側）	ボランティア交流会&ドライフラワーのアレンジメントづくり	11名

⑤ 景観形成支援事業

協働による景観まちづくりの推進に向け、地域景観資源の選定制度やホームページの見直し等を行った。

項目	内容
地域景観資源の新たな選定制度の検討	地域景観資源登録制度の新たな運用に向けて、制度の考え方や方向性をまとめた。
情報発信・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観ホームページのリニューアルに取り組んだ。</li> <li>・「ねりまの散歩道」の施設名の更新や写真を差替えた。</li> </ul>
景観まちなみ協定地区への支援	<p>協定地区の活動状況をヒアリングし、状況を把握した。</p> <p>[協定地区]</p> <p>北町旧川越街道地区 (旧川越街道の歴史を活かしたまちなみ協定)</p> <p>大泉北泉町会地区 (花咲く小路づくりまちなみ協定)</p> <p>春日町三丁目豊島園通り地区 (春日町、話し花咲くまちなみづくり協定)</p> <p>旭丘千川通り商店街地区 (花で人と道をつなぐ千川通りの景観づくり協定)</p> <p>東大泉四丁目地区 (東大泉4丁目の歴史、自然を活かした景観まちなみ協定)</p>
景観整備機構としての取組	芝浦工業大学と連携し、緑景観と住民意識の関係性の調査を実施した。

⑥ みどりを守り育てる人材の登録・紹介の仕組みづくり

みどりを育むムーブメントの輪を広げるため、希望する区民のだれもがどこでも気軽にみどりの活動に参加できるような仕組みを構築するため、参考事例の収集と検討課題の整理を行った。

(2) まちづくり事業の推進

① まちづくり啓発

1) まちづくり講座の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため講座の開催を中止した。

2) まちづくり活動助成事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「はばたき部門」の募集を休止した。「たまご部門」は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底してもらうことを条件に下半期の活動のみ募集した。

みどりのまちづくりにつながる活動を重視し広げていくために、活動助成制度を見直した。

[たまご部門]

身近な生活空間の保全・改善・創造のためのまちづくりを始めるにあたっての活動に対する助成

	団体名／活動提案名	助成金額
1	越後山菜の花の会 ／美しい花壇づくりと菜の花の種配布で癒しを届ける活動	100,000
2	としまえん水と緑の公園で遊ぶ会 ／練馬城址公園の遊びやアクティビティのアイデアとりまとめ	100,000
3	まちづくり実験室 Neriba Lab ／「まちが面白くなるには？」を考え、実践する。	100,000

3) まちづくり情報誌の発行

区民のまちづくりへの関心を高めるため、地域やみどりをテーマにまちづくり情報誌「こもれび」を発行した。

規 格：タブロイド判カラー4ページ

発行回数：年2回（10月・2月）

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響による取材の延期に伴い、当初6月発行予定の第71号を10月に発行した。

発行部数：第71号30,000部、第72号20,000部

配置場所：区内公共施設、各駅広報スタンド、郵便局、特集地区内新聞折込等

発行号	発行月	内 容
第 71 号	10 月	みんなでみどりのまちづくり
第 72 号	2 月	千川上水を歩いて武蔵野の風景を感じよう in 関町南・立野町

4) ホームページ等による情報発信

まちづくりに関する情報をより多くの方に提供していくため、みどりのまちづくりセンターのホームページにより、各種事業やまちづくり活動等に有益な情報を発信した。

② まちづくり相談

1) まちづくり登録団体支援

登録団体に対し、印刷機利用等の支援やプロジェクター等の貸出を行った。

登録団体数：163 団体

利用者数：個人 67 名、団体 144 名

2) まちづくり交流事業

メールアドレス登録者に対し、メールマガジン（月刊まちセンナビ）によるまちづくり情報の発信（毎月 25 日・年 12 回発信）や、登録団体向けにイベント情報、まちづくり活動のスケジュールをチラシとともに郵送し、団体間の交流を促進した。

3) ライブラリー運営

まちづくり活動の参考となる図書や冊子、パンフレット等を配架した「情報コーナー」を運営した。

4) 建築無料相談の後援

一般社団法人東京都建築士事務所協会練馬支部と連携し、協会が実施する建築無料相談事業（毎月第 4 月曜日）を後援した。

年間相談件数：32 件

③ まちづくり条例に基づく大規模建築物等に係る専門家派遣

大規模建築物等の計画に関する周辺住民と事業者の話し合いに対して専門家を派遣する制度について、派遣に至る案件が発生しなかった。

相談件数 1 件（対応 2 回） 派遣件数 0 件



④ まちづくり条例に基づく地区まちづくり協議会等の支援

1) 高野台5丁目中央地区住みよいまちづくりの会（総合型まちづくり協議会）

項目	内容
窓口対応業務	・まちづくり憲章窓口説明：15回
団体支援	・団体発行ニュースの作成支援：4回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定例会は中止
交流支援	・東京学芸大学附属国際中等教育学校ボランティア部との交流支援を行い、コロナ後の団体間の連携・協力の橋わたしを行った。

2) 武蔵関・環境を守る会（総合型まちづくり協議会）

項目	内容
窓口対応業務	・建築協定に関する窓口説明：7回 ・建築協定の申請窓口の代行：3回
団体支援	・建築協定運営委員会への参加：2回 ・ワーキング会議の開催：5回 ・アンケート調査の実施支援：2回 ・練馬区開発調整課との協議：2回

⑤ 地区まちづくりの活動支援

地区まちづくりを行う団体の活動を支援し、新たな地区の取組について検討した。

1) 高松地区

項目	内容	回数
高松地区における農の風景の育成支援	農の風景公園の開設に向けた検討会議に参加するとともに、区と農の風景育成地区におけるまちづくり団体の交流を支援した。	4回
ねりま都市農業プロジェクト研究会	「世界都市農業サミット」により得られた知見を活かし、区の都市農業の振興につなげるための会議に参加し、農の風景の育成などに関する意見交換や提案を行った。	5回

2) 大泉学園町地区

開催日・場所	内容	参加者数
11月7日 大泉学園町地区区民館	庭などをめぐり、地域の良さを知るイベント「ちゃい旅」の実施に関する意見交換会を開催した。	8名

12月9日～5月10日	「ちやい旅オンライン2020」 庭の写真やオーナーの想いを発信し、地域の良さを伝える特設ページをみどりのまちづくりセンターホームページ上に開設した。	総閲覧数 1,671回
-------------	---	----------------

### 3) 江古田駅周辺地区

旭丘一丁目町会および西武鉄道練馬駅管区との協働による、江古田駅南口広場の植栽帯の花壇化活動を支援した。

### 4) 練馬駅南地区

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、練馬駅南地区まちづくり憲章を推進する会および清掃活動等の開催は中止となった。

## ⑥ 空家等地域貢献活用事業

空家所有者や活用希望者からの相談対応、マッチング等を実施し、合意成立1件、契約成立1件を達成した。区の空家事業との連携や事業推進のための情報を発信した。

登録：空家所有者1件 空家活用希望者34件

相談：空家所有者18件 空家活用希望者70件

<空き家活用相談会>

開催日・場所	内 容	参加者数
12月19日 NPO 法人自然工房めばえ (高松地区)	空き家活用事例を見学しながら、事例紹介、専門家による個別相談等を行った。	参加5組 (9名)

## ⑦ 防災まちづくり推進事業

防災まちづくり推進地区(3地区)に指定された田柄地区、富士見台駅南側地区、下石神井地区の取組を推進するため、パンフレット、ニュースの編集と配布、アンケート調査の実施を支援した。

地域住民の意見収集のためのワークショップを2回開催した(うち1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催とした)。

項 目	内 容
パンフレット、ニュースの編集、配布 アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>パンフレット、ニュースの発行： 3地区合計 約19,000部/回 (3地区、3回、地区外権利者含む)</li> <li>アンケートの実施： 3地区合計 約19,000部/回 (3地区、1回、地区外権利者含む)</li> </ul>
ワークショップの開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の防災まちづくりに対する課題と心配ごとの把握</li> <li>②地域の主要な避難路と改善が必要な路線等の提案(書面開催3地区)</li> </ul>

⑧ 調査研究

住民参加・協働型のまちづくりを進めていくための調査・研究活動の一環として、「市民まちづくり支援・都市ネットワーク会議」に参加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動状況の情報交換をアンケートにより実施した。

(3) その他事業

① 建築物等のバリアフリー化協働推進事業

ユニバーサルデザインに関する相談、普及啓発、建築物のバリアフリー化推進等の事業を実施した。

項目	内容
区民意見聴取事業	公園および公共施設の改修、新設における区民モニターからの意見聴取 <検証> ・練馬総合運動公園 ・さくら運動公園 <意見聴取> ・生涯学習センター（ヒアリングにより実施） ・農の風景公園（ヒアリングにより実施） ・旭丘・小竹地域における新小中一貫教育校（参考事例調査）
店舗等のバリアフリー化普及展示	8/17～8/28 区役所本庁舎2階西側通路 2/1～3/31 平和台駅地下通路の展示スペース
研修会	<技術者向け研修> 第1回：10/30（参加者数18名） 第2回：11/14（参加者数9名） <区職員向け研修> 10/9（参加者数12名）

② みどりのまちづくりセンター運営協議会

センター事業の実施等について助言を行う機関である「みどりのまちづくりセンター運営協議会」をオンラインにて開催した。

開催日・場所	内容	出席委員
12月10日 公社会議室他	第32回運営協議会	8名

③ インターンシップの受け入れ

コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れを中止した。

## 2 自転車等の適正利用に関する事業〔定款第4条第1項第4号〕

### (1) 自転車駐車場・タウンサイクルの管理運営

#### ① 区立有料自転車駐車場およびねりまタウンサイクル

練馬区の指定管理者として、区立有料自転車駐車場、ねりまタウンサイクルの管理運営を行った。

#### <施設数・収容台数>

区 分	令和3年3月31日現在		令和2年3月31日現在		前年比増減	
有料自転車駐車場	74施設	39,042台	74施設	37,516台	0施設	1,526台
(うち原動機付自転車)	(24施設	664台)	(24施設	768台)	(0施設	△104台)
タウンサイクル	7施設	2,700台	7施設	2,700台	0施設	0台
合 計	81施設	41,742台	81施設	40,216台	0施設	1,526台

#### <新規開設・台数変更等施設(8施設)>

施設名	収容台数	前年比増減
石神井公園駅北(施設改修)	470台(うち原付40台)	△430台(うち原付△64台)
石神井公園駅北第2(施設改修)	650台(うち原付0台)	△150台(うち原付△32台)
大泉学園駅南口地下(一部ラック撤去)	620台	△30台
氷川台駅第2(閉鎖)	0台	△270台
氷川台駅第4(拡張整備)	1,127台(うち原付47台)	548台
平和台駅地下(新規開設)	1,860台	1,860台
早宮(原付置場整備)	280台(うち原付10台)	0台 (自転車△10台 原付10台)
早宮第2(原付置場縮小)	540台(うち原付20台)	△2台 (自転車16台 原付△18台)
合 計		1,526台(うち原付△104台)

#### <施設利用率>

区 分	令和2年度	令和元年度	前年比増減
有料自転車駐車場	86%	93%	△7ポイント
タウンサイクル	88%	96%	△8ポイント

#### <収容台数・利用人数>

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数(人/月) (B)			一時利用人数(人/日) (C)
		一般	学生	減免・免除	
有料自転車駐車場	39,042台	18,082人	5,100人	1,787人	8,539.4人
タウンサイクル	2,700台	1,733人	491人	124人	27.7人

※施設利用率 ( (B) + (C) ) / (A)

② 公社立自転車駐車場

<施設一覧>

名称（開設年月日）	施設概要
練馬駅つつじ（R1. 11. 1）	時間利用 収容台数：162 台 8 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料）
豊島園駅前（H23. 11. 1）	時間利用専用 収容台数：99 台 12 時間毎 100 円（最初の 2 時間無料）
石神井公園駅東（H26. 3. 1）	時間利用 収容台数：175 台（うち 5 台は原付） 12 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料） （原付 12 時間毎 200 円（最初の 2 時間は無料）） 定期利用 収容台数：691 台 時間利用増設エリア 収容台数：122 台 24 時間毎 100 円
石神井公園駅東拡張（R1. 6. 28）	時間利用 収容台数：40 台 8 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料）
石神井公園駅西（H26. 3. 1）	時間利用 収容台数：308 台 12 時間毎 100 円（最初の 2 時間は無料） 定期利用 収容台数：564 台
氷川台駅さくら（H30. 5. 1）	時間利用 収容台数：165 台 12 時間毎 100 円
合 計 5 施設	2,326 台（うち原付 5 台）

<施設利用率>

区 分	令和 2 年度	令和元年度	前年比増減
公社立有料自転車駐車場	1 0 2 %	1 0 6 %	△ 4 ポイント

<収容台数・利用人数>

区 分	収容台数 (A)	定期利用登録人数（人/月） (B)			一時利用人数（人/日） (C)
		一般	学生	減免	
公社立有料 自転車駐車場	2,326 台	909 人	344 人	88 人	1,027.0 人

※施設利用率  $( (B) + (C) ) / (A)$

(2) 放置自転車対策事業

練馬区からの受託事業として放置自転車対策事業を行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和 2 年 4 月からの緊急事態宣言期間中は、土日の撤去の中止や、平日の撤去作業員を午前と午後の 2 交代で撤去するなどの取組を行った。令和 3 年 1 月からの宣言期間中は、新型コロナウイルス感染症防止対策に留意し、通常どおりの方法で業務を実施した。

① 放置自転車等の撤去実績

区 分	令和2年度	令和元年度	前年比増減
自 転 車	5, 7 2 4台	1 0, 0 7 5台	△4, 3 5 1台
原動機付自転車	5 5台	8 3台	△2 8台
合 計	5, 7 7 9台	1 0, 1 5 8台	△4, 3 7 9台

<放置率>

区 分	令和2年度	令和元年度	前年比増減
平日（午前）	4. 6%	2. 8%	1. 8ポイント
平日（午後）	9. 0%	4. 6%	4. 4ポイント

※放置率 放置自転車等台数 / 乗り入れ自転車等台数

※緊急事態宣言および外出自粛要請により、駅への乗り入れ自転車台数が昨年度に比べ大幅に減少した。一方、放置自転車の台数も減少したものの、乗り入れ台数の減少に伴い放置率は上昇した。

② 自転車集積所の管理運営（撤去自転車の保管・返還）

返還日時 毎日（年末年始を除く）、午前9時30分から午後5時30分まで

撤去手数料 自転車4,000円、50cc以下の原動機付自転車7,000円

保管期間 撤去日翌日から1か月間

<自転車集積所一覧>

施 設 名	所 在 地	開設年月日	収容可能台数
中村自転車集積所	中村一丁目9番14号	平成元・10・1	2, 1 0 0台
平和台自転車集積所	早宮二丁目18番35号	平成9・5・1	1, 0 0 0台
石神井台自転車集積所	石神井台三丁目17番16号	平成5・8・1	1, 0 0 0台
富士見台自転車集積所	富士見台三丁目30番20号	平成17・10・1	3, 6 0 0台
合 計		4施設	7, 7 0 0台

<返還実績>

区 分	令和2年度	令和元年度	前年比増減
保管自転車等台数 (A)	5, 6 4 3台	1 0, 0 4 5台	△4, 4 0 2台
返還自転車等台数 (B)	3, 0 1 2台	5, 7 4 6台	△2, 7 3 4台
返 還 率	53. 4 %	57. 2%	△3. 8ポイント

※返還率 (B) / (A)

※保管自転車等台数は、撤去台数から廃棄台数（使用できない自転車の処分台数）を減じた台数

③ 自転車駐車場への誘導・案内

放置自転車の抑制と自転車駐車場への誘導を目的に誘導員を配置した。指定配置箇所を2人1組から1人で巡回する方法へ変更し、効率的に業務を実施した。

- ・平日 18 駅（江古田・桜台・練馬・豊島園・中村橋・富士見台・練馬高野台・石神井公園・大泉学園・上石神井・武蔵関・東武練馬・小竹向原・氷川台・平和台・地下鉄赤塚・練馬春日町・光が丘）
- ・土日 15 駅（平日の18 駅から東武練馬・小竹向原・練馬春日町を除く）

< 誘導員の配置実績 >

	令和2年度	令和元年度	前年比増減
延べ配置箇所	19,458箇所	20,928箇所	△1,470箇所
延べ時間数	65,678時間	70,525時間	△4,847時間

※令和2年4月からの緊急事態宣言中の土日14日間は誘導・案内業務を中止した。（4月18-19日、25-26日、5月2-3日、9-10日、16-17日、23-24日、30-31日）  
 宣言解除後、6月の土日4日間は午前、午後とも2時間に短縮して配置した。（6月6-7日、13-14日）

④ 放置自転車等の問い合わせ対応

自転車問い合わせセンターの運営

受付日時 毎日（年末年始を除く）、午前8時30分から午後5時30分まで  
 （ただし、土日祝は午前9時30分から午後5時30分まで）

< 内容および件数 >

区 分	令和2年度	令和元年度	前年比増減
即時撤去	2,423 件	4,050 件	△1,627 件
赤札撤去	976 件	1,286 件	△310 件
駐輪場案内	2,976 件	3,262 件	△286 件
その他	44 件	48 件	△4 件
合 計	6,419 件	8,646 件	△2,227 件

※即時撤去は、放置禁止区域内の放置自転車撤去に対する問い合わせ

※赤札撤去は、放置禁止区域外の放置自転車撤去に対する問い合わせ

(3) 公社自主事業

① 無料自転車駐車場の管理運営

練馬区との協定に基づき、公社の自主事業として無料自転車駐車場の管理運営を行った。

<施設数および収容台数>

区 分	令和3年3月31日現在	令和2年3月31日現在	前年比増減
無料自転車駐車場	5施設 1, 111台	5施設 1, 111台	0台
(うち原動機付自転車)	(1施設 14台)	(1施設 14台)	0台

② 自転車対策地域協議会

区内鉄道駅周辺の商店会・町会等に対し、自転車を取り巻く地域の諸課題の解決を働きかけ、自ら課題を解決できる団体（自転車対策地域協議会）への活動支援および新たな団体設立に向けての支援を通じて自転車の適正利用を進める。

1) 江古田（江古田駅周辺自転車対策地域協議会）

江古田駅地域協議会総会（7月21日開催）に出席。

江古田駅地域協議会構成団体の旭丘1丁目町会から「江古田駅南口広場花壇」の美化活動への協力申出があり、町会と西武鉄道間の調整を自転車事業課とまちづくりセンターが担い、3者合同で花を植栽した（12月11日）。花壇の名称プレートとともに、駐車場利用を呼びかける簡易プレートもあわせて設置した（12月25日）。

「えこだパンさんぽ with 桜台（11月21～23日）」のイベントにタウンサイクルの貸出で協力した（22～23日の二日間）。貸出実績は、22日は11台、23日は13台であった。また、利用促進を兼ねて、近隣の自転車駐車場を案内するイベントリーフレットを配布した。

令和3年2月開催予定の協議会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。

2) 練馬（練馬駅南地区自転車対策地域協議会）

協力予定であった「練馬つつじフェスタ（4月29日）」は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。

令和2年5月、9月、令和3年1月に開催予定であった協議会は中止。

3) 中村橋（中村橋中杉通り周辺自転車対策地域協議会）

協力予定であった「猫飛夕市」「中村橋阿波踊り」は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。

自転車適正利用の普及啓発活動の一環として、新たに「はじめての自転車ブック」（5～9歳の児童とその保護者を対象）を作成した。今後、中村橋駅周辺の町会、小学校、保育園、児童館、図書館等に配布する予定である。

令和3年3月開催予定の協議会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。

4) 石神井公園（石神井公園駅周辺自転車対策地域協議会）

5月25日開催予定の協議会総会は、新型コロナウイルス感染症防止のため書面開催。

新たに、石神井公園駅東・西自転車駐車場に設置した防災対策型飲料自動販売機に装備しているデジタルサイネージを利用した商店会情報（イベント中止、ふれあ



い広場の活用)の発信に協力した。

令和3年1月開催予定の協議会は、新型コロナウイルス感染症防止のため中止。

5) その他

富士見台駅東・西自転車駐車場に設置した防災対策型飲料自動販売機に装備しているデジタルサイネージを活用した情報発信の協力を通じて、富士見台駅周辺の2商店会(富士見台本町通り商店会・富士見台商栄会)と覚書を締結し(令和3年3月)、連携団体(自転車対策地域協議会の準備段階の組織)としての支援を開始した。

3 資源循環の推進に関する事業〔定款第4条第1項第5号〕

公社は、循環型社会の形成に寄与することを目的に、平成22年4月から区内の家庭から排出される容器包装プラスチックの回収作業と粗大ごみの収集作業を区から受託している。

また、平成22年11月から練馬区資源循環センター(以下「センター」という。)の管理運営を受託しており、令和2年度も区民が粗大ごみ等を直接センターに持込みできる事業や粗大ごみの再使用事業、廃食用油の回収事業、区民・事業者等への普及啓発事業など幅広い事業を行っている。さらに、令和2年4月からは、区からの新たな受託事業として、区が収集した蛍光灯を分別・保管し、資源化事業者に引渡す事業を行った。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う緊急事態宣言中の学校の休校、在宅勤務など、自宅で過ごす時間が増えたことから、資源とごみの収集量は大幅に増加した。

(1) 容器包装プラスチックの回収事業

区内の家庭などから排出される容器包装プラスチックを週6日(日曜日を除く)、資源・ごみ集積所から回収し、区が指定する中間処理施設へ搬入した。

<容器包装プラスチック回収の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量(t)	495.58	503.12	477.78	488.77	464.07	452.38	2,881.68
前年同月比	115.3%	110.5%	114.5%	109.0%	106.2%	111.0%	111.1%
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量(t)	462.30	418.97	468.06	484.47	425.29	484.43	5,625.185
前年同月比	104.8%	100.2%	110.2%	103.7%	106.0%	108.7%	108.3%

(2) 粗大ごみの収集事業

区民からの粗大ごみ受付センターへの申込みにより決定した収集日・排出場所で粗大ごみを収集し、区が指定する中間処理施設へ搬入した。

<粗大ごみ収集の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
収集量(t)	527.59	529.36	537.58	643.51	544.17	509.81	3,292.02
収集件数	19,121	21,536	21,227	22,325	20,584	20,345	125,138
前年同月比	108.0%	99.8%	109.5%	125.2%	108.6%	111.7%	110.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収集量 (t)	550.50	519.67	661.82	426.15	515.98	597.33	6,563.47
収集件数	23,685	22,465	28,365	19,446	21,133	22,759	262,991
前年同月比	106.0%	104.6%	114.3%	104.1%	114.9%	120.5%	110.7%

※収集件数は、未収分も含む

※前年同月比は、収集量の比較

### (3) センターの受託運営

区の資源循環推進の拠点であるセンターにおいて、以下の事業を実施した。

#### ① 粗大ごみ・資源の持込み事業

粗大ごみは、センターによる各戸収集のほか、区民がセンターに直接持ち込むことができる。また、センターは、古布・廃食用油等の回収拠点になっているとともに、小型家電、乾電池、紙パック、使用済みインクカートリッジの回収ボックスを設置している。

なお、センターへの持込み実績は下表のとおりである。

#### <粗大ごみ持込みの月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
持込量 (t)	92.24	67.64	62.30	90.21	90.59	80.57	483.55
持込件数	2,359	1,780	1,956	2,889	2,919	2,628	14,531
前年同月比	126.9%	77.9%	69.4%	137.5%	121.2%	117.3%	108.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
持込量 (t)	68.28	56.89	69.20	49.20	49.40	52.76	829.28
持込件数	2,264	1,937	2,372	1,853	1,668	1,762	26,387
前年同月比	95.3%	76.8%	73.1%	67.9%	81.7%	66.1%	91.0%

※前年同月比は、持込量の比較

#### <古布持込みの月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	3,180	80	9,430	5,290	5,140	3,170	26,290
前年同月比	71.3%	1.0%	211.9%	164.8%	140.1%	59.3%	108.1%
区全体量(kg)	20,195	3,630	89,630	40,210	46,170	28,390	228,225

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	4,280	5,750	4,930	3,670	5,210	4,940	55,070
前年同月比	122.6%	125.0%	96.7%	98.9%	157.4%	106.9%	102.4%
区全体量(kg)	60,200	57,610	47,680	36,190	37,560	39,400	506,865

#### ② 粗大ごみの再使用事業

粗大ごみの中から再使用が可能なものを、センターで簡易な修理や清掃を行い、区内4か所のリサイクルセンター（関町、春日町、豊玉、大泉）に提供した。

#### <再使用の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
再使用 (点)	686	277	380	460	471	517	2,791
前年同月比	97.7%	40.9%	54.1%	66.8%	62.5%	78.3%	66.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
再利用 (点)	668	716	535	640	620	700	6,670
前年同月比	96.0%	112.8%	74.7%	128.5%	109.5%	102.5%	83.6%

③ 廃食用油の回収事業

区が拠点回収（44 か所）した廃食用油を、中身と容器に分別、保管し、区が指定する資源化事業者に引渡した。

＜廃食用油持込みの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	79	9	365	168	318	101	1,040
前年同月比	61.5%	5.1%	210.4%	275.1%	307.2%	51.0%	151.7%
区全体量(kg)	506	312	3,029	1,872	1,473	1,754	8,946

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	228	165	192	116	173	92	2,006
前年同月比	198.6%	202.6%	72.2%	57.3%	143.8%	87.9%	116.0%
区全体量(kg)	953	2,535	1,819	1,035	1,882	933	18,103

④ 金属類の資源化事業

粗大ごみから、鉄等の有用金属を分解・選別・保管し、区が指定する資源化事業者に引渡した。

＜金属類の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
鉄類(t)	31.76	30.02	30.04	36.05	31.85	31.73	191.45
非鉄類(t)	4.37	4.62	4.12	4.46	4.22	3.79	25.58
有害金属(t)	6.13	4.88	4.78	5.85	5.06	5.33	32.03
計	42.26	39.52	38.94	46.36	41.13	40.85	249.06
前年同月比	110.1%	94.5%	92.9%	109.4%	99.8%	105.4%	101.9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
鉄類(t)	34.01	33.60	38.95	30.01	33.72	38.12	399.86
非鉄類(t)	2.86	3.79	3.36	3.27	3.45	3.58	45.89
有害金属(t)	5.35	5.31	7.66	5.27	5.83	6.34	67.79
計	42.22	42.70	49.97	38.55	43.00	48.04	513.54
前年同月比	99.8%	101.9%	103.9%	103.4%	113.4%	113.9%	103.9%

※回収量は、当センターの分のみ

⑤ 不燃ごみ（蛍光管）の資源化事業

令和2年4月から、区が不燃ごみ収集してきた蛍光管を、分別、保管等し、区が指定する資源化事業者に引渡した。

＜蛍光管の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	2,450	2,518	2,602	1,818	1,430	2,700	13,518
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	1,890	2,150	2,760	2,840	2,910	2,550	28,618

⑥ 小型家電製品の資源化事業

区内 16 か所に設置している小型家電製品の回収ボックスから、回収した携帯電話を含む小型家電製品を品目毎（13 品目）に選別し、区が指定する資源化事業者に引渡した。

＜小型家電の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (kg)	242.5	341.8	698.1	508.5	554.4	470.7	2,816.0
前年同月比	58.6%	88.0%	202.2%	173.2%	246.7%	130.5%	149.9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (kg)	495.8	548.1	542.9	478.5	503.4	556.6	5,941.3
前年同月比	189.3%	168.5%	172.2%	146.7%	199.9%	137.6%	151.9%

⑦ ふとんの資源化事業

粗大ごみの中から「ふとん」を選別し、区が指定する資源化事業者に引渡した。

＜ふとんの月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量 (t)	10.68	8.69	9.25	7.72	7.25	8.56	52.15
前年同月比	128.1%	71.6%	85.0%	67.6%	71.8%	99.9%	87.3%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量 (t)	10.30	11.38	10.58	6.41	7.89	9.50	108.21
前年同月比	97.54%	98.02%	88.39%	71.14%	77.58%	78.90%	85.33%

※回収量は、土支田中継所回収分を含む

⑧ 資源循環の推進に関する相談および普及・啓発

センターに設置している「見て学べる展示スペース」や太陽光発電等の環境配慮設備等を活用して、資源循環の推進に係る普及・啓発事業を実施した。

なお、施設見学は、新型コロナウイルス感染症対策を図りながら実施した。

ア 相談コーナーの運営

清掃・リサイクルに関する相談を受けるとともに、資源循環に関する書籍等を収集し、区民に情報提供した。

イ 施設見学会の開催

センターは、区の循環型社会の形成をめざした施設と位置付けられていることから、区民、町会・自治会、小・中学生、保育園児などの施設見学を受け入れているが、コロナ禍の影響を受け、団体の見学は行政関係者のみだった。

＜施設見学の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
団体数	0	0	1	0	1	0	2
団体人数	0	0	14	0	9	0	23
個人	0	0	1	1	9	1	12

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
団体数	0	0	0	0	0	0	2
団体人数	0	0	0	0	0	0	23
個人	1	1	2	0	0	1	17

ウ 講習会の実施

ものを大切にし、ごみ減量への意識付けの契機となるような講習会を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、今年度の開催は中止した。

⑨ 集団回収支援事業

集団回収は、町会・自治会などの団体が、自主的に資源を回収するリサイクル活動で、センターは活動団体を拡大するためのPRや団体と回収事業者間の調整、集団回収に必要な用具類の提供および回収実績の取りまとめ業務等を行った。

また、区から回収量に応じた報奨金が半年ごとに資源回収活動団体に支給されるため、そのお知らせを8月と2月に発送した。

＜集団回収の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
新規登録団体数	0	0	0	1	1	2	4
廃止団体	0	0	0	0	0	0	0
総登録団体数	654	654	654	655	656	658	
回収量 (t)	861.3	901.9	786.5	650.1	763.6	665.1	4,628.5
前年同月比	83.3%	106.4%	84.2%	89.9%	96.0%	88.7%	91.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規登録団体数	0	0	1	0	0	1	6
廃止団体	0	0	0	0	0	0	0
総登録団体数	658	658	659	659	629	660	
回収量 (t)	753.9	711.9	935.2	700.0	706.9	766.5	9,202.9
前年同月比	101.7%	87.1%	97.5%	101.4%	84.4%	90.8%	92.3%

⑩ 生ごみ資源化支援事業

生ごみ処理機、生ごみコンポスト化容器の購入費助成の受付と生ごみコンポスト化容器のあっせん受付を行った。

＜生ごみ資源化支援事業の実績＞ 購入費助成件数 6件 あっせん件数 11件

⑪ 大型生活用品情報掲示板事業

区民から申し込みのあった「譲ります」「譲ってください」の情報を一覧にした資料を作成し、区内17か所（5月に石神井図書館が追加）の情報掲示板に掲示した。

＜「譲ります」の月別実績＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
掲載件数	8	0	6	18	22	18	72
成立件数	4	0	3	11	3	4	25
成立率	50.0%	0.0%	50.0%	61.1%	13.6%	22.2%	32.8%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
掲載件数	13	10	28	18	21	10	172
成立件数	4	9	17	10	8	5	78
成立率	30.8%	90.0%	60.7%	55.6%	38.1%	50.0%	45.3%

＜「譲ってください」の実績＞ 掲載 14件 成立 1件

⑫ 資源循環の推進に係る民間事業者等の支援・育成事業

集団回収を実施する予定の団体には、団体の希望がある場合に回収予定事業者と一緒に、集団回収の説明を行った。また、回収事業者には集団回収できる品目（古紙、古布、缶など）を積極的に回収するよう協力要請を行った。

#### (4) 区民・事業者との協働の推進

区民と事業者との協働体制の構築するため、集団回収実践団体と資源回収している区内事業者および区と連携して協働体制づくりに努めた。

### 4 可燃ごみ・不燃ごみの収集に関する事業〔定款第4条第1項第6号〕

公社は、公衆衛生の向上や環境保全を図るため、平成27年度から可燃ごみ・不燃ごみの収集業務の一部を区から受託している。

#### (1) 可燃ごみの収集事業

区内の家庭などから排出される可燃ごみを週6日（日曜日を除く）、資源・ごみ集積所から収集して区が指定する清掃工場に搬入した。公社は、区の作業計画に基づき、収集計画の作成および収集作業を行った。

月曜日から水曜日の収集作業は、1台あたり1日6回行い、木曜日から土曜日は、区東部地域は1台あたり1日5回、区西部地域は1台あたり1日4回行った。

##### <可燃ごみ収集の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量(t)	4,403.18	4,648.16	4,221.69	4,169.59	3,893.45	3,829.88	25,165.95
区全体量(t)	11,037.56	11,684.12	10,622.49	10,530.46	9,781.52	9,650.99	63,307.14
公社収集比率	39.9%	39.8%	39.7%	39.6%	39.8%	39.7%	39.75%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量(t)	3,949.32	3,764.50	4,233.45	3,925.56	3,442.01	4,067.73	48,548.52
区全体量(t)	9,948.07	9,475.80	10,700.84	9,955.65	8,725.12	10,292.94	122,405.56
公社収集比率	39.7%	39.7%	39.6%	39.4%	39.4%	39.5%	39.7%

#### (2) 不燃ごみの収集事業

区内の家庭などから排出される不燃ごみを週3日、資源・ごみ集積所から収集し、区が指定する中間処理施設に搬入した。公社は、区の作業計画に基づき、収集計画の作成および収集作業を行った。

収集作業は、木曜日から土曜日に行い、区東部地域は1台あたり1日1回、区西部地域は1台あたり1日2回行った。

##### <不燃ごみ収集の月別実績>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
回収量(t)	222.91	278.14	223.62	172.07	198.48	171.81	1,267.03
区全体量(t)	495.32	610.30	496.08	387.91	449.26	389.79	2,828.66
公社収集比率	45.0%	45.6%	45.1%	44.4%	44.2%	44.1%	44.79%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
回収量(t)	168.90	212.09	204.41	178.12	198.53	174.42	2,403.50
区全体量(t)	391.78	473.96	464.71	414.46	453.62	397.87	5,425.06
公社収集比率	43.1%	44.7%	44.0%	43.0%	43.8%	43.8%	44.30%

### (3) 収集拠点の運営

可燃ごみ・不燃ごみの収集拠点として、区東部地域は桜台事業所を、区西部地域は石神井分室（石神井清掃事務所4階）を利用し、その機能維持に努めた。

石神井分室については、令和3年4月からの区西部地域の受託エリア拡大に伴う社員増員が見込まれることから、石神井清掃事務所と施設利用について協議を行った。

## 5 地球温暖化の防止対策に関する事業〔定款第4条第1項第7号〕

公社は、区から受託している練馬区地球温暖化対策地域協議会（以下「協議会」という。）事務局運営業務を円滑に執行するとともに、協議会事業を推進した。

### (1) 令和2年度の事業

#### ① 各種環境イベントの開催、出展

##### ○第10回ねりまエコスタイルフェア【開催中止】

節電、省エネ・省資源につながる展示・体験等を通じて「環境に配慮したライフスタイル」を推進することを目的に、練馬まつりなどと同開催で「第10回ねりまエコスタイルフェア」の開催を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催を中止した。

##### ○スタート！エコライフ2021冬

例年、6月の環境月間関連行事として実施していたスタート！エコライフ2020について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催延期とし、令和3年1月、「スタート！エコライフ2021冬」として開催した。

温室効果ガスの排出を抑制することを目的に、協議会会員団体が中心となり、関係する企業・団体と協働で住宅設備や家電に関わる環境配慮型製品の展示や家庭から始められる楽しいエコライフを紹介した。

日時：令和3年1月21日（木）～28日（木）8時45分～20時

会場：練馬区役所本庁舎1階アトリウム

出展団体数：12団体

##### ○環境野外講座【開催中止】

子どもから大人までを対象に、五感を使って楽しみながら地球や自然の大切さを学ぶ講座として11月に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催を中止した。

##### ○ロハスフェスタ東京2020へのブース出展【出展中止】

ロハスフェスタ実行委員会主催の環境イベント「ロハスフェスタ東京2020」（令和2年9月 都立光が丘公園）について、出展を予定していたが、新型コロナウ

イルス感染拡大防止対策のため主催者が開催を中止した。

○練馬こぶしハーフマラソン 2021 へのブース出展【出展中止】

練馬こぶしハーフマラソン実行委員会主催の「練馬こぶしハーフマラソン 2021 付帯イベント」(都立光が丘公園)に出展を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため主催者が開催を中止した。

② 区民向け講演会・講習会の開催

○環境月間講演会(環境月間関連行事)【開催中止】

6月の環境月間行事への協賛事業として開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため開催を中止した。

○事業者向け講習会【開催中止】

事業者主催の会合に講師を派遣する形での事業者向け講習会の開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、開催を中止した。

○省エネルギー月間講演会

2月の省エネルギー月間に合わせて講演会を開催した。開催にあたっては、消毒や参加者数を会場の定員の4分の1に制限するなど新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底して、住宅の建築やリフォームを行う際に注目されているZEHの原理や効果、住宅室内の環境と健康の関係など、最新の動向を踏まえて解説していただいた。

演題：「快適・安全なすまいのつくりかた

～ネットゼロエネルギー住宅(ZEH)の現状と課題」

日時：令和3年2月23日(火・祝)10時～正午

会場：練馬区役所本庁舎地下多目的会議室

講師：芝浦工業大学建築学部教授 秋元 孝之 氏

参加者数：42名(定員を50名とした)

③ 青少年向け啓発事業

○第10回こどもエコ・コンクール

小学校3年生から中学校2年生までを対象に、環境をテーマとした作品を募集し、入賞作品をノートにして配布し、地球温暖化対策の啓発に活用した。

さらに、入賞作品、および小・中学生部門より約100作品を、スタートエコライフ2021冬とともに、練馬区役所本庁舎1階アトリウムにて展示した。

募集期間：令和2年7月21日(火)～9月4日(金)

応募数：2,063件(小学生730件、中学生1,333件)

アトリウム展示期間：令和3年1月21日(木)～1月28日(木)



○地球温暖化防止月間講演会【開催中止】

12月の地球温暖化防止月間に合わせて開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため開催を中止した。

○マスコットキャラクター「ねりねこ☆多・ねりこん vv が行く」【活動中止】

協議会の活動内容を広く周知するとともに、温暖化対策への区民の理解をさらに深めていくため、協議会主催のイベントや区内の地域行事でマスコットキャラクターを活用してPR活動を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため活動を中止した。

④ 地球温暖化対策の調査・区民支援事業

子育て・働き盛り世代への啓発強化の一環として、ねり☆エコホームページ内特設ページに子どもと保護者向けのコンテンツを新設・増設した。

○ねり☆エコ e-ラーニング [増設]

自宅のパソコンやスマートフォン等でアクセスできる地球温暖化や省エネに関するクイズ形式のページ（e-ラーニング）を、2コース増設し、計4コースとした。設問は、協議会の担当委員会議やエネルギー・スキルアップ講座（平成27年～29年実施）修了者による意見交換を経て、より子どもたちに親しみのある形で作成した。

新コース：教えて！ねりねこ☆多・ねりこん vv 5問

冬のおうちで地球温暖化対策！省エネクイズ 4問

既存コース：地球温暖化編、ねりまのエコ編 データ更新

○ねりまのエコ暮らし帳 [新設]

居住空間にあわせた省エネのコツや 地域のエコな取り組みを紹介する新ページ「ねりまのエコ暮らし帳」を新設し、年間削減使用量や年間節約料金を紹介するなど子育て・働き盛り世代が自らアクションを起こすきっかけとなるコンテンツを提供した。

キッチン編・お風呂編・トイレ編・リビング編・建物編 計7項目掲載

エコまちねりま 計2項目掲載

○省エネ啓発動画 [新設]

子どもたちやその親の世代の方に伝えたいメッセージを動画で配信した。ねり☆エコホームページの既存コンテンツをベースに、子どもでもわかりやすい言葉でシナリオを作成した。マスコットキャラクターのねりねこ☆多・ねりこん vv の着ぐるみを活用し、シナリオに合わせて撮影・編集して短編の動画を制作した。

たのしく学ぼう！地球温暖化：本編12本

ねりねこ☆多・ねりこん vv 紹介編：1本

計13本

## ⑤ 広報業務

### ○協議会ホームページの運営

地球温暖化対策や協議会の活動等について、区民等に普及啓発を図るため、ホームページを随時更新した。また、ホームページ全体の暗号（SSL）化、スマートフォン対応、「地球温暖化について」の解説ページの再整理（5項目⇒8項目）などを行い、閲覧性の向上を図った。

ホームページ更新回数：49回

令和2年度閲覧数：77,290件（前年度：45,757件）

### ○メールマガジン・ダイレクトメールによる事業周知

地球温暖化に関するニュースや協議会の事業案内についてメールマガジンを配信した。また、郵送を希望した区民等へは事業案内のダイレクトメールを送付した。

メールマガジン登録数：289件（前年度284件）

メールマガジン配信回数：5回

ダイレクトメール登録数：318件（前年度322件）

（令和3年3月31日現在）

## ⑥ 会員事務

### ○会員に関する事務

会員の名簿作成および維持管理に係る業務

### ○協議会の各種会議運営業務

総会1回 役員会3回 事業部会6回 担当委員会3回

### ○協議会の窓口業務

電話・訪問等への対応、会員や協議会が行う事業の出演者・出展者との連絡や折衝等、協議会に関するプレス対応、協議会が行う事業の円滑な運営への支援等

## ⑦ その他

### ○ねり☆エコ設立10周年記念誌の発行

ねり☆エコの10年間の記録をまとめた記念誌を発行した。

印刷部数：300部

体裁：A4両面カラー 本文48ページ

環境配慮：グリーンプリンティング認定工場での印刷、植物油オイルインク、再生パルプ60%配合再生紙使用

## I 評議員会および理事会の開催状況

定款第 17 条および第 30 条の規定に基づき、令和 2 年度に開催した評議員会および理事会はつぎのとおりである。各案件について決議を得た。

### 1 評議員会の開催状況

回数	開催年月日等	案 件
第 1 回 文 書 による 同 意	令和 2 年 4 月 1 日 (水)	議案第 1 号 評議員の選任について 議案第 2 号 理事の選任について 議案第 3 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常勤理事の報酬月額および 6 月支給賞与額について
第 2 回 文 書 による 同 意	令和 2 年 6 月 22 日 (月)	議案第 4 号 令和元年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業報告について 議案第 5 号 令和元年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社決算について 報告第 1 号 規程等の制定および一部改正について
第 3 回 文 書 による 同 意	令和 2 年 12 月 2 日 (水)	議案第 6 号 評議員の選任について 議案第 7 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常勤理事の 12 月支給賞与額について
第 4 回 文 書 による 同 意	令和 3 年 3 月 15 日 (月)	議案第 8 号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社常勤理事の報酬月額および 6 月支給賞与額について 報告第 2 号 令和 2 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社補正予算 報告第 3 号 令和 3 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業運営方針 報告第 4 号 令和 3 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業計画 報告第 5 号 令和 3 年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社予算 報告第 6 号 規程等の制定および一部改正について

## 2 理事会の開催状況

回数	開催年月日等	案 件
第1回 文書 による 同意	令和2年4月1日(水)	議案第1号 理事長の選定について 議案第2号 常務理事の選定について 報告第1号 資源循環センター所長について
第2回 文書 による 同意	令和2年5月29日(金)	議案第3号 令和元年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業報告について 議案第4号 令和元年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社決算について 報告第2号 規程等の制定および一部改正について 報告第3号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告について
第3回	令和2年11月17日(火) 出席理事 12名 出席監事 2名	議案第5号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社中期経営計画(案)について 議案第6号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社文書管理規程の一部改正について 議案第7号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社社員の育児休業、介護休業等に関する規程の一部改正について 議案第8号 評議員会の開催について 報告第4号 理事長・常務理事の職務の執行状況報告について 報告第5号 令和2年度上半期事業執行状況について 報告第6号 令和2年度上半期予算執行状況について 報告第7号 基準の一部改正について 報告第8号 新型コロナウイルス感染症対策について 報告第9号 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社に対する労働審判手続申立事件について
第4回 文書 による 同意	令和3年3月15日(月)	議案第9号 令和2年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社補正予算 議案第10号 令和3年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業運営方針 議案第11号 令和3年度公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事業計画 議案第12号 令和3年度公益財団法人練馬区環境ま

		ちづくり公社予算
議案第 13 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事務局組織および処務に関する規程の一部改正について	
議案第 14 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社情報セキュリティに関する規程の一部改正について	
議案第 15 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社事案決定規程の一部改正について	
議案第 16 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社文書管理規程の一部改正について	
議案第 17 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社公印規程の一部改正について	
議案第 18 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社社員就業規則の一部改正について	
議案第 19 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社社員の育児休業、介護休業等に関する規程の一部改正について	
議案第 20 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社社員給与規程の一部改正について	
議案第 21 号	公益財団法人練馬区環境まちづくり公社財務規程の一部改正について	
議案第 22 号	評議員会の開催について	
報告第 10 号	要綱の制定について	
報告第 11 号	新型コロナウイルス感染症対策について	

## Ⅱ 評 議 員 名 簿

令和3年3月31日現在

役 職 名	氏 名
評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員 評 議 員	井 口 薫 秋 山 勉 中 村 壽 宏 高 橋 利 充 石 塚 康 夫 植 田 敏 裕 市 村 保

### Ⅲ 役員名簿

令和3年3月31日現在

役職名		常・非	氏名
理事	理事長	常勤	黒田 叔孝
	常務理事	常勤	中村 啓一
	常務理事	常勤	内木 宏
	理事	常勤	乾 嘉行
	理事	非常勤	篠 利雄
	理事	非常勤	阿部 財智
	理事	非常勤	横倉 尚
	理事	非常勤	高橋 司郎
	理事	非常勤	鈴木 正邦
	理事	非常勤	本橋 正寿
	理事	非常勤	森田 勇
	理事	非常勤	大澤 琢朗
	理事	非常勤	原澤 大三
理事	非常勤	新堀 桂三	
理事	非常勤	金沢 景一	
監事	監事	非常勤	小貫 裕文
監事	監事	非常勤	佐久間 太志